

「沖縄の離島観光に関する意識調査」について

沖縄振興開発金融公庫企画調査部は、表題について調査結果をまとめました。本調査は、全国の男女 1,000 人を対象に Web アンケートを実施し、沖縄県内の離島旅行に対する意識・実態について分析を行いました。
今後同報告書を発刊し、関係機関への配布を予定しております。

調査結果のポイント

Ⅰ. 離島の認知度と旅行経験

1. 沖縄離島への旅行者（図表 1）

国内旅行経験者[*]の約 6 割が沖縄旅行を実施、そのうち約 1/3 が本島以外の沖縄の離島(以下「離島」)への旅行を実施している(以下「経験者」)。また、2/3 を占める離島旅行の未経験者(以下「未経験者」)についても、過半が離島旅行に関する関心を持っている。

[*] 過去 3 年以内に国内旅行を実施した県外居住者 (n=975)

2. 離島の認知度と旅行の状況（図表 2～4）

離島毎の認知度をみると、上位 3 島の石垣島、宮古島及び西表島は、概ね 7 割超の高い認知度となっているが、認知度 1 割未満の離島が全体の 6 割を占めており、離島の認知度は一部の島に偏在している。

さらに、経験者を対象に離島毎の旅行経験をみると、石垣島をはじめとする上位 4 島を除くと、旅行経験は 3 割未満と低く、離島の旅行経験についても一部の島に偏在している。

Ⅱ. 離島旅行経験者と未経験者の意識比較

離島の認知度を引き上げ、旅行を促すには、離島に対して関心を持つ未経験者への働きかけが有効と考えられる。ここで、経験者と未経験者について離島旅行に対する意識を比較すると、以下の特徴がみられた。

1. 離島旅行の媒体（図表 5）

経験者においては意識的に情報を得る「旅行ガイドブック」、未経験者においてはビジュアルで目に入りやすい「テレビ番組」の割合が高い。

2. 離島旅行の検討時期等（図表 6、図表 7）

経験者で「旅行の計画当初から検討」していたの割合が 9 割超を占め最も高い一方で、未経験者では「どの段階でも検討しなかった」の割合が 4 割超を占め最も高い。未経験者が検討しなかった理由についても、「時間が足りなかった」、次いで「費用」の順に割合が高い。

3. 離島旅行の阻害要因（図表 8）

経験者では、特に「旅行しづらいとは思わない」と感じる割合が最も高く、次いで「費用」、「移動時間」の順で割合が高い。未経験者では、「費用」の割合が最も高く、次いで「交通が不便」、「移動時間」の割合が高い。

なお、離島旅行の経験の有無に関わらず、離島旅行に対する期待として「海・ビーチの美しさ」の割合が最も高く、次いで「のんびりと贅沢な時間」の過ごし方の順で割合が高い(図表 9)。また、経験者の離島旅行の満足度は、「期待以上」と「期待どおり」を合わせた割合が全体の約 8 割超を占め、高い水準にある(図表 10)。

Ⅲ. 離島旅行経験者の年齢別比較

経験者(n=189)について、直近の沖縄旅行の実態や希望する沖縄旅行の時期等の意向を年齢別に分析したところ、以下の特徴がみられた。

1. 宿泊地(図表 12)

経験者全体の約半分が本島エリアのみで宿泊し、その約 3 割が宮古・八重山いずれかのエリアで宿泊、残り 2 割が本島エリアと宮古・八重山エリアを組み合わせで宿泊している。年齢別にみると、20 代で本島エリアのみの宿泊者が約 2/3 を占めた一方で、40 代では本島エリア以外(宮古・八重山いずれかのエリア)の宿泊者が 4 割超を占めている。

2. 宿泊数(図表 13)

経験者全体としては、3泊4日が4割超を占め割合が最も高く、次いで2泊3日が2割余を占めている。年齢別にみると、30～40代及び60代以上で3泊4日が4割超を占める一方で、20代で2泊3日が4割超を占めている。

3. 旅行単価(図表 14)

経験者全体としては、7万未満の割合が過半を占めており、このうち5万以上7万未満が約1/4を占め割合が最も高い。年齢別にみると、60代以上では7万円以上の割合が過半を占めており、このうち7万以上10万未満が約1/4を占め割合が最も高い。

4. 希望する沖縄旅行の季節(図表 15)

経験者全体としては、春(3～4月)が1/4超を占め割合が最も高く、次いで初夏(5～6月)が約1/4を占めている。年齢別にみると、30代及び60代で春(3～4月)が3割超を占め割合が高い。また、30～40代で夏(7～8月)が3割前後を占め割合が高い一方、60代では1割未満と割合が低い。

5. 希望する沖縄旅行の出発日(曜日)(図表 16)

経験者全体としては、月曜と金曜がそれぞれ3割弱を占める。年齢別にみると、50代の4割超が月曜を希望し割合が高く、次いで20代及び60代が3割前後を占め割合が高い。また、40代の過半が金曜を希望し割合が高く、次いで20～30代が3割前後を占め割合が高い。

6. 離島旅行の阻害要因[Ⅱ. 3.の再集計](図表 17)

経験者全体としては、特に「旅行しづらいと感じることはない」の割合が最も高く、次いで「費用」、「移動時間」の順で割合が高い。年齢別にみると、60代及び20代で特に「旅行しづらいと感じることはない」の割合が高い一方で、40代で「費用」の割合が高い。

IV. 離島観光の促進に向けて

1. 人口減少化に直面している離島にとって、観光による交流人口の増加は、地域を持続させるための重要課題である。その解決の糸口として、今次アンケート結果からは、①各離島の認知度向上の必要性和②有望なターゲット層への訴求の2点が抽出される。
2. 前者(認知度向上)については、離島の認知度には大きく偏りがあり、また認知度の高さが必ずしも旅行に繋がっていない離島もみられる等の現状を踏まえ、まずは認知度向上に向けて取り組むことが必要である。テレビ等の目に入りやすいメディアを通じて、あるいは空港や港等においてビジュアルなイメージを伝えるとともに、旅行ガイドブックやWebサイト等の具体的、詳細な離島情報へ誘導する等、場面に応じたより多面的な情報発信が求められる。
3. 後者(有望なターゲット層への訴求)については、今次アンケートからは、シニア層は旅行単価が比較的高く、離島旅行への抵抗が少ないとの結果がでている。他の年代層に比べて時間や金銭的に比較的余裕があり、これからの超高齢化社会のターゲットとしても有望な層である。さらに、アンケート結果では、シニア層の旅行志向は夏期、週末のピーク時を外した時期が好まれる傾向にあり、狭小がゆえにキャパシティが小さく混雑等の負荷を受けやすい離島にとっては、好適なターゲットである。
4. 今次アンケートでは対象外の県民やインバウンドも今後の有望なターゲットとなろう。前者は沖縄に住む身近な客層として、後者は大都市圏から地方へ、さらに団体旅行から個人旅行へ志向がシフトしている客層として、いずれも離島にとって有望な客層となるが見込まれる。
5. 近時の旅行形態は、移動手段でみても、空路だけでなくクルーズ船による旅行の増加、空路もLCCやチャーター便の就航等多様化しており、チャーター便や周遊船による新ルート形成等も可能性を秘めている。旅行検討の媒体も従来のテレビやガイドブック等のマス情報だけでなく、SNSのような個人による双方向情報も急速に進展しており、離島にとっても今後は多様なアプローチが可能となろう。官民が一層の連携を図り、よりよい方向へと向かうことを期待したい。

<調査要領・回答者の概要>

1. アンケートの目的

沖縄の離島観光に関して、国内旅行者を対象に沖縄の離島の認知度及び旅行に対する意識・実態を把握し、沖縄の離島観光促進へ向けた対応策の一助とする。

2. アンケートの期間

平成29年1月27日(金)～1月29日(日)

3. アンケートの対象者・有効回答数

国内在住の20～79歳の男女

有効回答数：1,000人

4. 質問の方法

インターネット調査会社(株)クロス・マーケティングから登録モニターに電子メールで依頼し、ウェブサイト上の調査画面に回答者自身が回答を入力

5. 主な質問項目

質問項目	概要
1. 属性について	居住地、性別、年齢、世帯年収等
2. 私事旅行について	国内旅行回数、実施時期等
3. 沖縄旅行について	実施回数、総予算予算・1人あたり単価等
4. 沖縄離島旅行について	離島の認知・訪問経験(*)、実施回数、期待・満足度等

(*) 沖縄離島：沖縄本島と架橋等で接続していない沖縄本島以外の有人離島(39島)

宮古島と架橋で接続する池間島、来間島、伊良部島、下地島については、その旨を選択肢に示し、単一の選択肢を用いた

6. サンプル設計・集計方法

男女別・年齢層別(10歳刻み)の人口構成比を勘案し、合計1,000人となるよう回収目標を設定

7. 回答者の概要

(1) 居住地

(単位：人)

全体	1,000	(100.0%)
東京圏 (1都3県)	374	(37.4%)
関西大都市圏 (2府1県)	151	(15.1%)
その他地域 (1道39県)	475	(47.5%)

(2) 年代別・男女別の構成

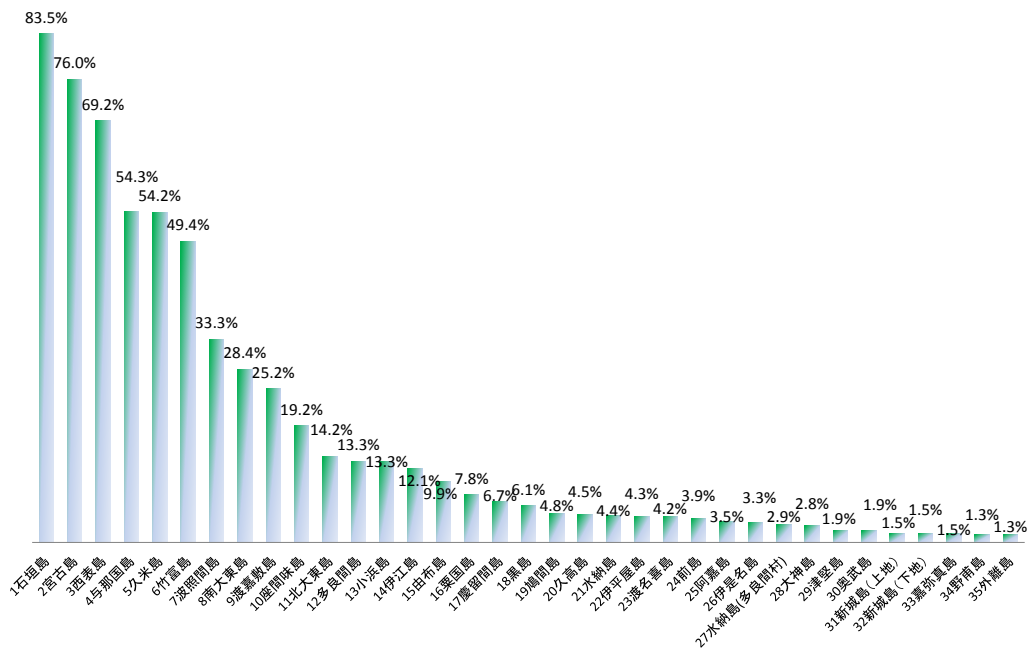
(単位：人)

	男女計	男性	女性
全体	1,000 (100.0%)	494 (100.0%)	506 (100.0%)
20～29歳	128 (12.8%)	65 (13.2%)	63 (12.5%)
30～39歳	164 (16.4%)	83 (16.8%)	81 (16.0%)
40～49歳	196 (19.6%)	99 (20.0%)	97 (19.2%)
50～59歳	166 (16.6%)	83 (16.8%)	83 (16.4%)
60～69歳	195 (19.5%)	95 (19.2%)	100 (19.8%)
70～79歳	151 (15.1%)	69 (14.0%)	82 (16.2%)

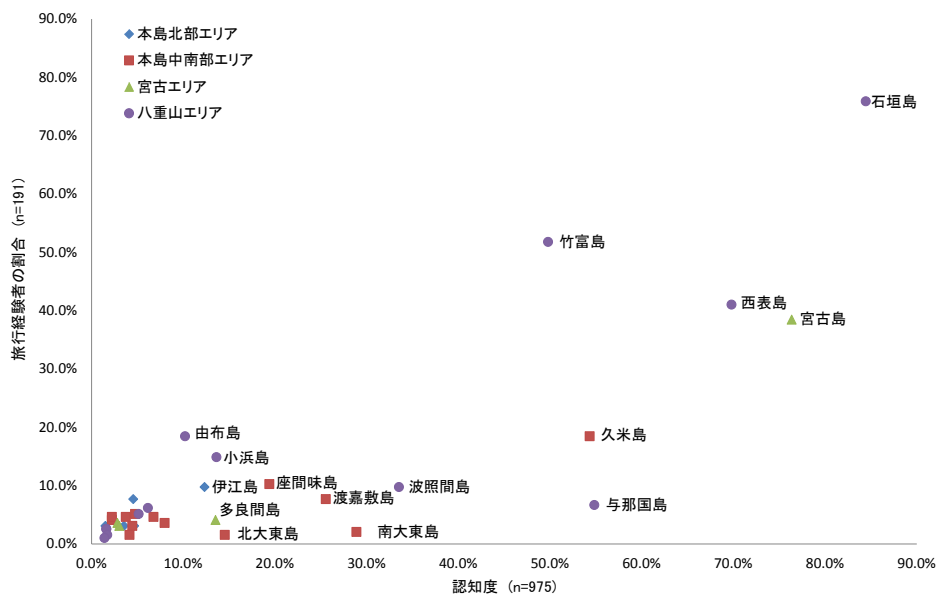
図表 1 沖縄旅行経験×離島旅行経験

	全体	離島旅行の 経験者	離島旅行の 未経験者	上段:回答者数(人) 下段:構成比(%)	
				離島旅行に関 心あり	離島旅行に関 心なし
全体	975 100.0	191 19.6	784 80.4	595 61.0	189 19.4
沖縄旅行の経験者	559 100.0	191 34.2	368 65.8	317 56.7	51 9.1
沖縄旅行の未経験者	416 100.0	— —	416 100.0	278 66.8	138 33.2

図表 2 離島の認知度（3年以内の国内旅行経験者／n=975）



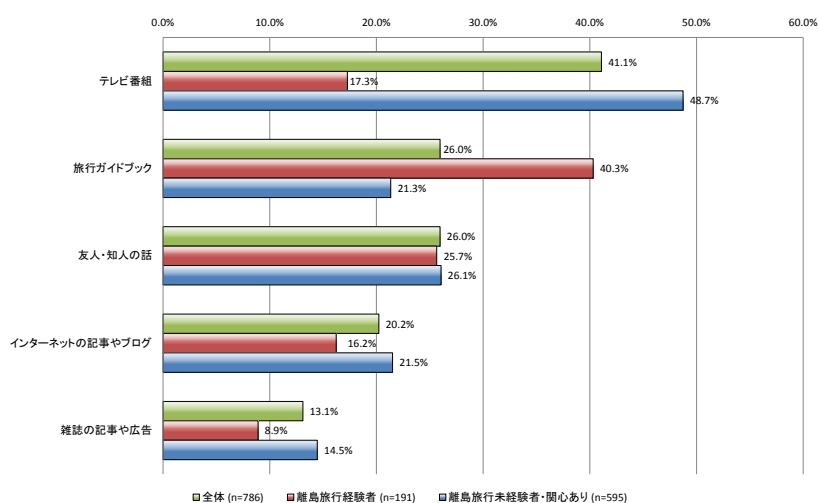
図表 3 離島の認知度と旅行経験



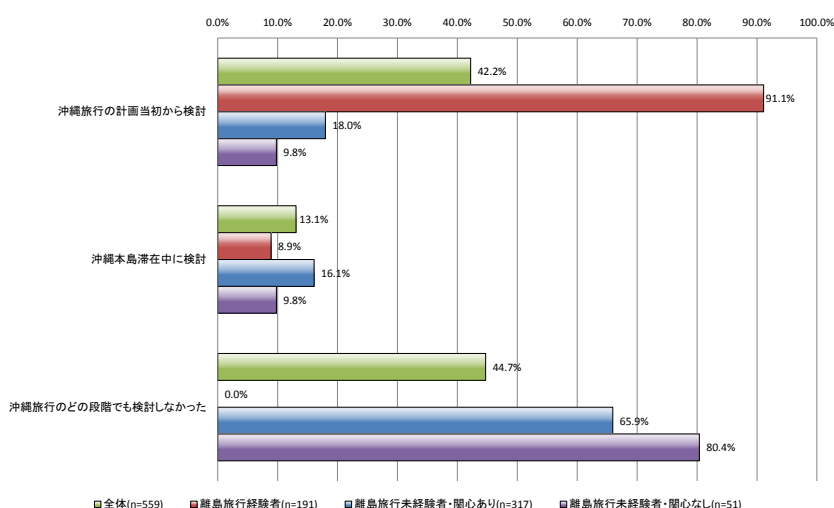
図表 4 認知しているが旅行未経験の島（上位 10 島／離島旅行経験者[n=191]）

順位	(回答者:人)									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
島名	与那国島	久米島	宮古島	波照間島	西表島	南大東島	渡嘉敷島	竹富島	座間味島	小浜島
認知しているが旅行未 経験の者 (=a-b)	99	89	78	72	66	65	61	45	43	40
認知している者 (a)	112	123	152	91	145	69	76	144	62	69
旅行経験者 (b)	13	34	74	19	79	4	15	99	19	29

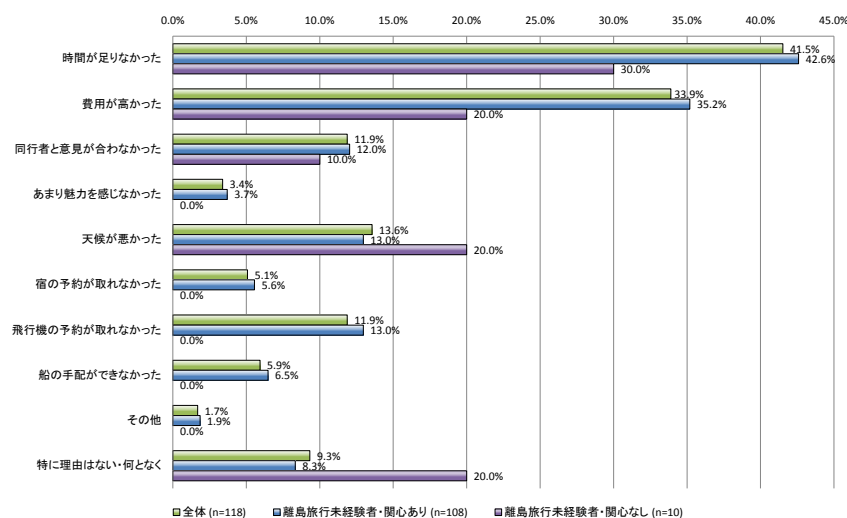
図表 5 離島旅行検討の媒体(複数回答 上位 5 項目)×離島旅行経験
(離島旅行経験者+同未経験者・関心あり／n=786)



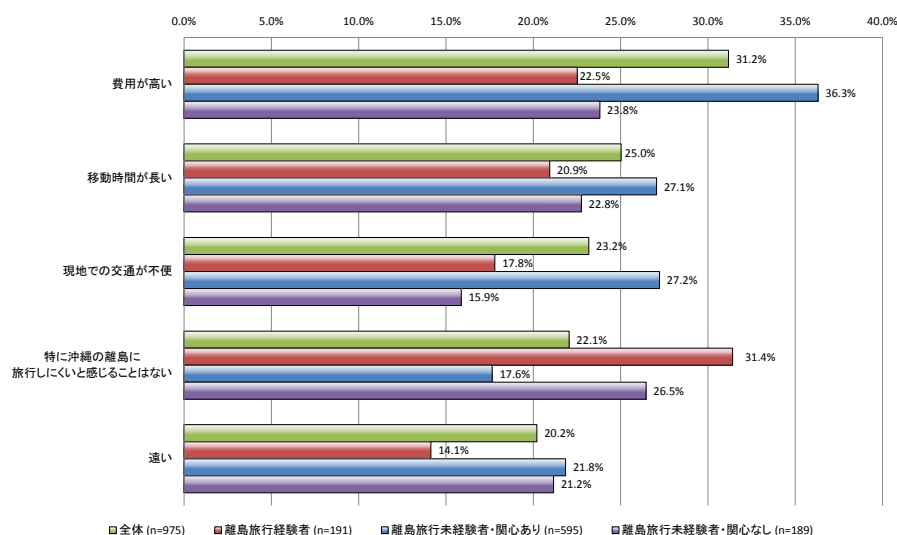
図表 6 離島旅行の検討時期×離島の旅行経験・関心 (沖縄旅行経験者／n=559)



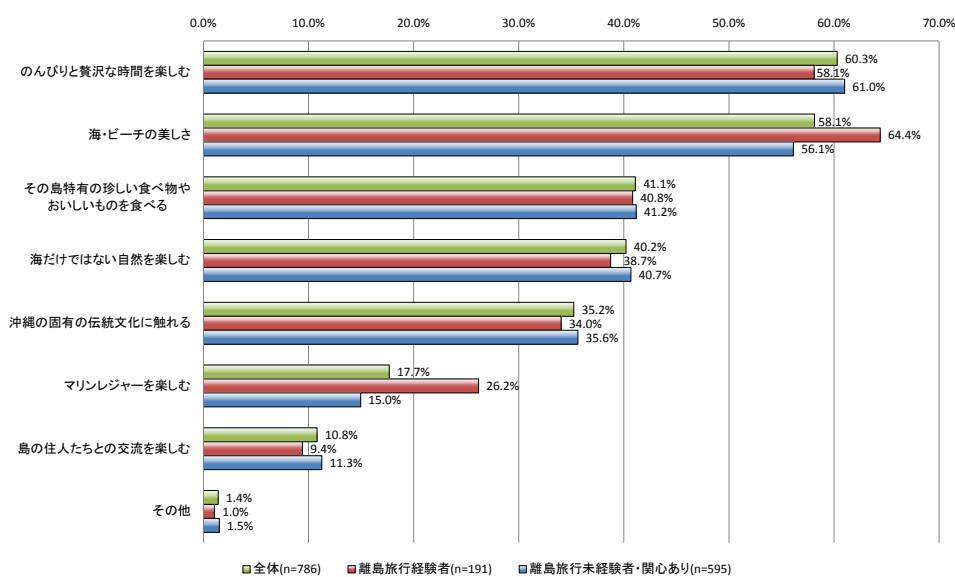
図表 7 離島旅行を検討しなかった理由×離島旅行の関心
(沖縄旅行経験かつ離島旅行未経験者のうち、離島旅行を検討しなかった者／n=118)



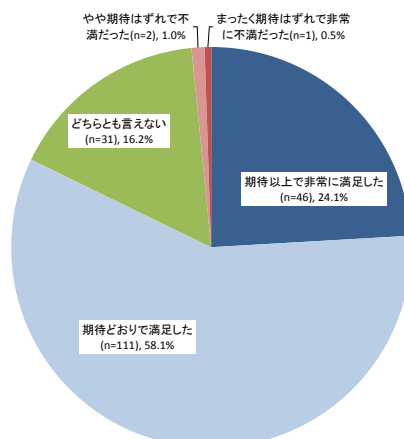
図表 8 離島旅行の阻害要因(複数回答 上位 5 項目)×離島旅行の経験・関心 (3 年以内の国内旅行経験者／n=975)



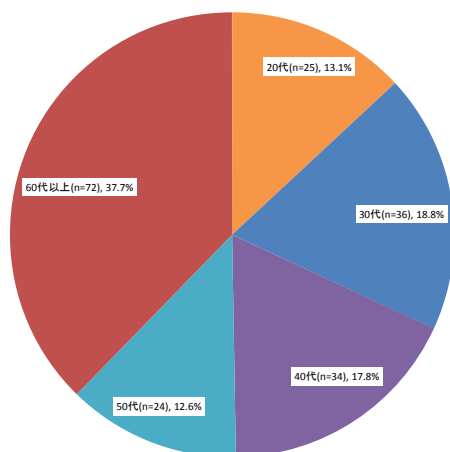
図表 9 離島旅行に対する期待 (複数回答)×離島旅行の経験
(離島旅行経験者+同未経験者・関心あり／n=786)



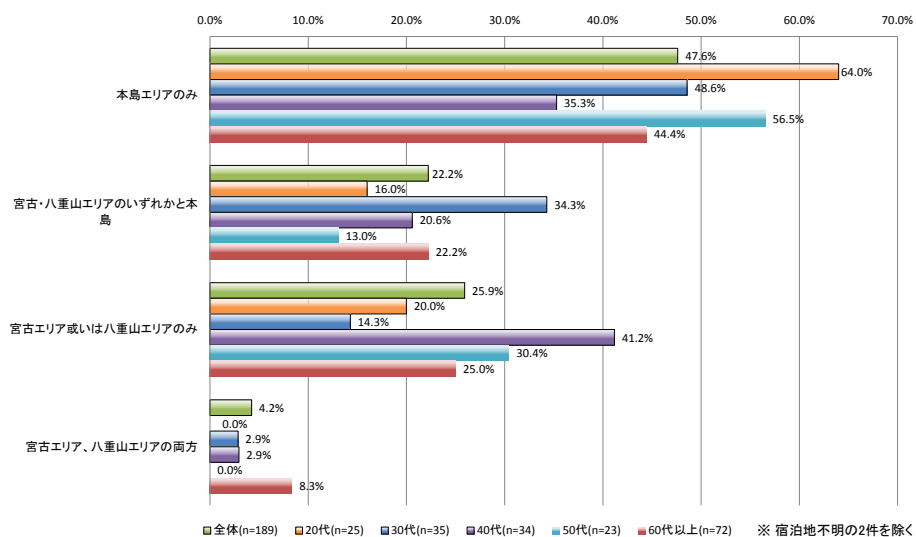
図表 10 沖縄離島旅行に対する満足度 (離島旅行経験者／n=191)



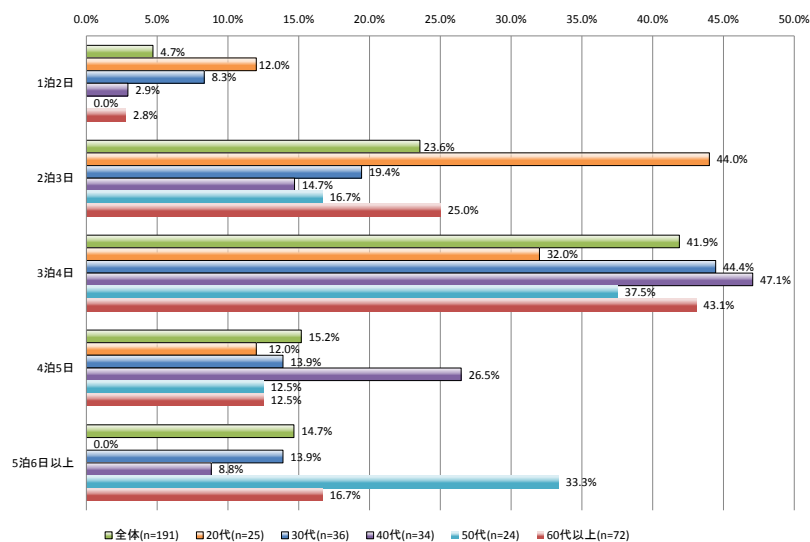
図表 11 年齢構成（離島旅行経験者／n=191）



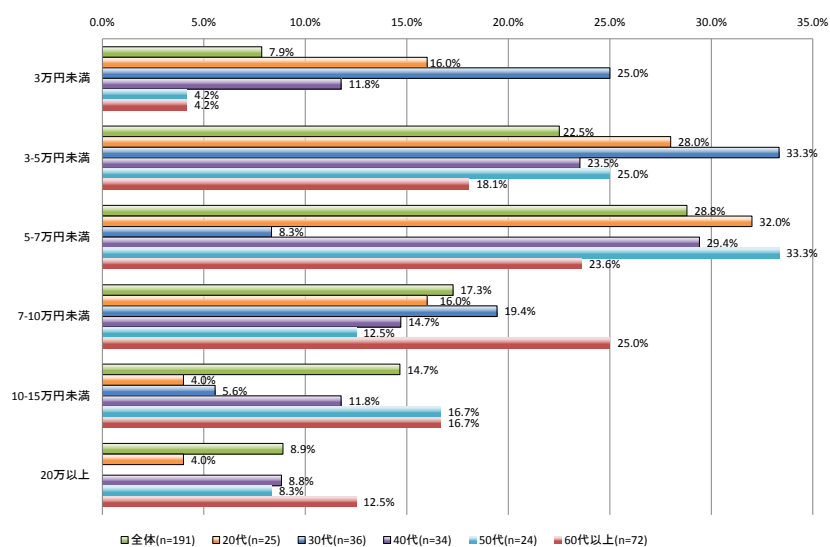
図表 12 直近の沖縄旅行の宿泊エリア×年齢（離島旅行の経験者／n=189）



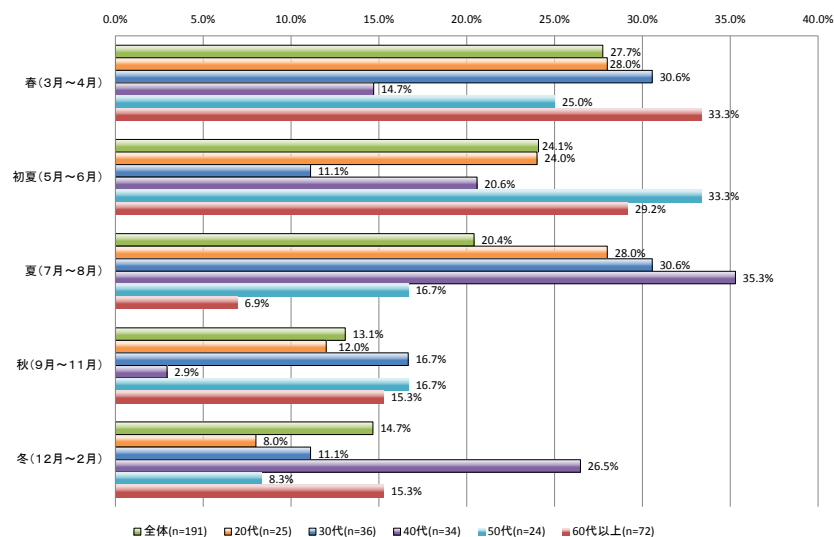
図表 13 直近の沖縄旅行の宿泊数×年齢（離島旅行の経験者／n=191）



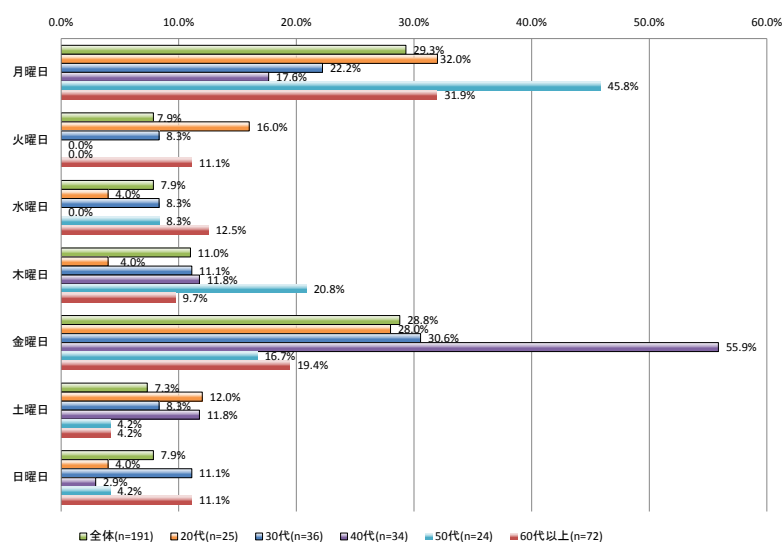
図表 14 直近の沖縄旅行の単価×年齢（離島旅行の経験者／n=191）



図表 15 希望する沖縄旅行の季節×年齢（離島旅行の経験者／n=191）



図表 16 希望する沖縄旅行の出発日(曜日)×年齢（離島旅行の経験者／n=191）



図表 17 離島旅行の阻害要因(複数回答 上位 5 項目)×年齢 (離島旅行の経験者／n=191)

